



# 青春の フォトスケッチ

高校写真部の生徒が  
とらえた心に残る1枚



## とどけ グラウンドの選手たちへ

### 作者のコメント

夏の甲子園を目指す県予選。炎天下の中、2年生の部員が、スタンドから一生懸命応援している姿に引かれました。



宇都宮商業高校  
橋本 ゆかりさん

今、輝いてる市民

## はっらつ宮っ子

### 感動と勇気を皆さんに

全国大会で2度目の優勝 宇都宮市出身 ふじぬま あい 藤沼 亜衣さん



左手でしっかりと握られたラケットから強烈なスマッシュが相手コートに放たれ、勝負は決まりました。今年2月、日本の卓球トップ選手のみ参加の「ジャパントップ12」大会で、藤沼亜衣さんは、6年ぶり2度目の優勝を飾りました。決勝の相手は、「愛ちゃん」こと福原愛さん。試合は、愛ちゃんに先行されましたが、落ち着いた試合運びを見せ、逆転。「考え過ぎずに楽な気持ちで思い切りやれたのが勝因」と熱戦を振り返りました。

藤沼さんは、家族の皆さんが卓球をしていた影響で卓球を始め、小学生の6年間、城西小体育館を会場とする「城山卓球クラブジュニア」に通っていました。この時期から、常に緊張感を持って、練習に取り組んでおり、ご両親も遠征の時には、徹夜で仕事を片付け、同行するなど、深い愛情を持って見守ってきました。そして、現在は、国内試合ばかりでなく、海外の国際大会にも出場しています。試合がない日も朝から練習と、文字通り「卓球漬け」の毎日を送っています。

小さいころは、人見知りだったという藤沼さんですが、卓球を続けていくうちに、海外にもたくさんの方たちと打ちあかすようになりました。「たくさんの方たちに支えられ、力を頂いて幸せいっぱい卓球生活を送ることができていることに感謝」していますが、これからも、「皆さんに感動や勇気を与えることができるよう、さらに頑張っていくたい」と左手のラケットを改めて握り直しました。